

『キャンベル生物学 原書9版』(4刷)正誤表

(2019年12月10日現在)

章・部	ページ	行数(図・表)	誤	正
17章	413	図17.23 ヘモグロビンの塩基配列について	※(訳者より補足)この図では、鎌状赤血球症に関連するヘモグロビン遺伝子の塩基配列が、野生型「CTT/GAA」、鎌状赤血球症型「CAT/GTA」となっていますが、最新の『キャンベル生物学 原書11版』では、野生型「CTC/GAG」、鎌状赤血球症型「CAC/GTG」と修正されています。	
32章	779	右 下から4行目	どのようにの進化	どのように進化
33章	797	右 「鉢虫類」の2行目	プランクトンとして生活する、	プランクトンとして生活する。

『キャンベル生物学 原書9版』(3刷)正誤表

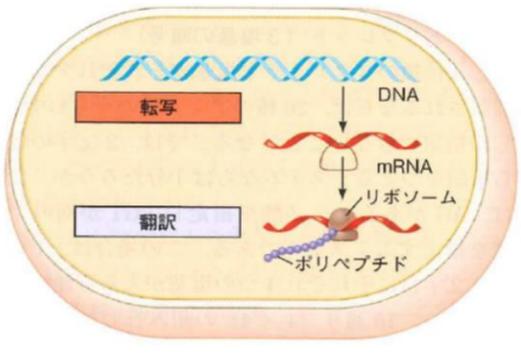
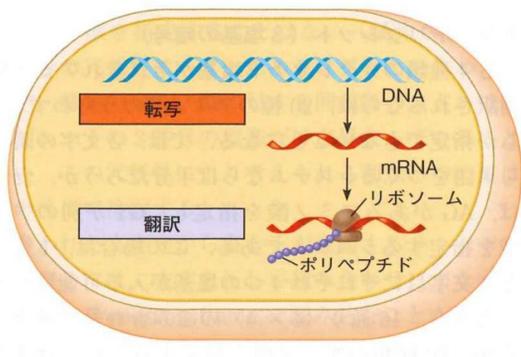
(2018年6月12日現在)

章・部	ページ	行数(図・表)	誤	正
1章	21	左 最下行	そのこの例	その例
1章	25	右 下から7~10行目	ときには、最も有益であった基礎研究の適用例において、科学的探究の過程では完全に予想外であり、青天の霹靂のように生まれた。	ときには、最も有益となる基礎研究の適用例は、まさに青天の霹靂のごとく、科学的探究の過程でまったく予想外の発見から生まれる。
1章	28	左 下から3行目	確かめるためように	確かめるために
1章	29	右 14問目の4行目	いくつかの	いくつかの
5章	92	右 上から13行目	ポリペプチドには1個だけ	ポリペプチドは1個だけ
5章	95	左 上から4行目	構造形式	構造形成
7章	158	図7.18説明文下から2行目	これはATPのエネルギーが使われる。	これにはATPのエネルギーが使われる。
9章	210	左 下から6行目	到達する最終的な	到達する。最終的な
16章	367	左 下から6行目	針金を用いて作成	針金を用いて作製
16章	386	右 上から9行目	形成される染色体の数は細胞ごとに固有であり、	細胞は定められた数の染色体を形成し、
17章	393	「結果」の段落12行目 行頭	が必要とする栄養素のパターンから	<b>結論</b> 変異株が必要とする栄養素のパターンから
17章	411	右 上から24~25行目	細胞外への分泌のためにや細胞膜へと	細胞外への分泌または細胞膜へと
18章	444	左 下から3行目、右 上から1行目	胚生致死	胚性致死
18章	450	左 上から10行目	なっていると。	なっている。
21章	517	右 下から22行目	検索対象の塩基配列	検索対象の塩基配列
21章	525	右 上から22行目	機能があるととしても	機能があるととしても
23章	583	左 「研究」コラム中の図 右側のカエル	ハイロアマガエルのSC	ハイロアマガエルのLC
25章	616	図25.4 現在に向かう矢印の目盛の単位	1億年前	1(単位:100万年前)
26章	645	右 下から3行目	最も新しいの共通祖先	最も新しい共通祖先
26章	661	図26.21 すべての生物の共通祖先の位置		
27章	676	右 下から15行目	醗酵	発酵
34章	831	右段下から5行目	メクラウナギ類	ヌタウナギ類
34章	864	中央下部 「羊膜類」	半膜卵	羊膜卵
37章	940	左 下から3行目	化学、技術、社会	科学、技術、社会
38章	948	右 15行目	ここで、エンドウの種子を	ここで、インゲンの種子を
38章	948	右 26行目	エンドウの子葉は、	インゲンの子葉は、
38章	949	図38.8(a)	エンドウ、分厚い子葉をもつ真正双子葉植物。	インゲン、分厚い子葉をもつ真正双子葉植物。
38章	949	右 本文下から7行目	エンドウや他の多くの真正双子葉植物では	インゲンや他の多くの真正双子葉植物では
38章	950	図38.9(a)	エンドウ。エンドウでは、胚軸の	インゲン。インゲンでは、胚軸の
38章	950	図38.9「？」マーク部分	エンドウやトウモロコシの実生は、	インゲンやトウモロコシの実生は、
38章	963	左 下から3行目	化学、技術、社会	科学、技術、社会
39章	985	図39.21(a)	夜が限界暗期より短くなる時	夜が限界暗期より長くなる時
39章	985	図39.21(b)	夜が限界暗期より長い時	夜が限界暗期より短い時
40章	1008	右 上から23行	音を見分ける	音を聞き分ける
47章	1203	図47.17(b)	非囊類(訳注:ホヤなどの尾索動物)における	尾索動物における
49章	1245	図49.14「インバクト」コラム内の右図	扁排体	扁桃体
54章	1381	左 下から3行目	同所的に分化した種は、	異所的に分化した種は、
54章	1381	左 下から2行目	対照的に、異所的に分化した種は、	対照的に、同所的に分化した種は、
付録A	1522	38章理解度テスト1. の答え	c	e
付録A	1522	39章図の問題 図39.22	短日植物は花を咲かせるが、長日植物は花を咲かせない。	短日植物は花を咲かせないが、長日植物は花を咲かせる。
付録E	1548	左 上から12~13行目	担子菌門(出芽酵母、アカパンカビ、トリュフなど) 子囊菌門(シイタケ、キクラゲ、サルノコシカケなど)	子囊菌門(出芽酵母、アカパンカビ、トリュフなど) 担子菌門(シイタケ、キクラゲ、サルノコシカケなど)
用語解説	1602	左 上から17行目	胚生致死	胚性致死
索引	1631	右 上から7行目 アリー効果の頁数	1352	1362
索引	1650	左 上から15行目	胚生致死	胚性致死

『キャンベル生物学 原書9版』(2刷)正誤表

(2015年1月23日現在)

章・部	ページ	行数(図・表)	誤	正
5章	84	左15行目	不飽和脂肪	不飽和脂肪酸
14章	325	左4行目	対立遺伝子M	対立遺伝子 <i>M</i>
14章	325	左6行目	対立遺伝子N	対立遺伝子 <i>N</i>
14章	325	左8行目	対立遺伝子MとN	対立遺伝子 <i>M</i> と <i>N</i>
14章	339	左 理解度テスト 1. 用語	ホモ接合	ホモ接合体
14章	339	左 理解度テスト 1. 用語	ヘテロ接合	ヘテロ接合体
14章	340	右6行目	31株	318株
15章	346	右 図15.4 結論1~2行目	白眼の表現形質( <i>W</i> )	白眼の表現形質( <i>w</i> )
15章	346	右 図15.4 結論2行目	赤眼の表現形質( <i>W'</i> )	赤眼の表現形質( <i>w'</i> )
15章	351	図15.9 どうなる? 1行目	灰色の身体	灰色の体
16章	369	左25~26行目	T2ファージは哺乳類の腸内にふつうに生息し、分子生物学者に	T2ファージは、哺乳類の腸内にふつうに生息し分子生物学者に【読点の位置を変更】
16章	380	図16.17 図中①	リカーゼ	ヘリカーゼ

17章	395	右 図17.3(a) 図中		
17章	398	右 概念のチェック17.1 3. の1行目	遺伝子の相補鎖	遺伝子の鋳型鎖
17章	401	左 概念のチェック17.2 3. の1行目	細菌のDNAの上で	細菌および真核生物のDNA上で
17章	412	右 17行目	1塩基の場合と2塩基の場合	1塩基対の場合と2塩基対の場合
17章	419	左 下から3行目	ヌクレオチドが	ヌクレオチドの塩基が
18章	436	左 4行目	プロテアソームに分解されない	プロテアソームで分解されない
19章	457	左 図19.1 図中スケール	0.5mm	0.5 μm
19章	466	右 13~14行目	細菌や酵母などの単細胞真核生物から見出されている	細菌や単細胞真核生物の酵母などから見出されている
20章	482	右 4~5行目	真核生物の遺伝子を細菌の宿主で機能させる	真核生物の遺伝子を, 細菌を宿主として発現させる
20章	482	右 下から15行目	真核生物には珍しい	真核生物では珍しく
20章	486	左 概念のチェック20.1 3. の2行目	細菌の宿主と	宿主として細菌と
40章	1004	表40.1 上から3行目「呼吸系」の「おもな器官」	肺, 器官, 他の気管	肺, 気管, 他の気管
付録A	1481	右 理解度テスト 1. の1行目	遺伝子I	遺伝子J
付録A	1481	右 理解度テスト 1. の3行目	一遺伝子雑種交雑	1遺伝子雑種交雑
付録A	1483	右 理解度テスト 5. の1行目	組換え頻度は6%	組換え頻度は12%
付録A	1485	左 重要概念のまとめ 16.1の2行目	リボースの5' 位	糖の5' 位
付録A	1485	右 理解度テスト 1行目	7. b	7. c
付録A	1486	左 図の問題 図17.7の1~2行目	ポリメラーゼ II	ポリメラーゼ
付録A	1488	左 概念のチェック18.2 1. の2行目	ヒストンのメチル化	DNAのメチル化
付録A	1489	左 重要概念のまとめ 18.2の8行目	ここで始めて	ここで初めて
付録A	1489	左 重要概念のまとめ 18.3の5~7行目	この複合体がsiRNAと相補的な配列をもつmRNAと結合すると, mRNAが分解されて翻訳が阻害される.	この複合体が, miRNAまたはsiRNAと相補的な配列をもつmRNAと結合すると, そのmRNAは分解または翻訳の阻害を受ける.
付録A	1489	右 理解度テスト 11. c. の4行目	赤色, 黒色, 紫色のアクチベーター	赤色, 黒色, 紫色, 青色のアクチベーター
付録A	1490	右 理解度テスト 6. 図中	新たなウイルスタンパク質	新たなウイルスゲノム

『キャンベル生物学 原書9版』(1刷) 正誤表

(2013年7月18日現在)

章・部	ページ	行数(図・表)	誤	正
1章	4	図1.3「3. 群集」説明文 8行目	いろいろなキノコとそれ以外- -してあまりに小さくて顕微鏡でなければ見えない	いろいろなキノコとそれ以外の菌類, そしてあまりに小さくて顕微鏡でなければ
1章	7	図1.6 (a) 1行目	太陽光から生産者からへ	太陽光から生産者へ
1章	27	右 26行目	その産物を生産するプロセスが遅くなる	その産物を生産するプロセスを遅くする
4章	69	右 10行目	この異性体はのわずかな形の違いは	この異性体のわずかな形の違いは
5章	79	図5.3 右上枠	ジヒドロキシアセトンリン酸	ジヒドロキシアセトン
2部冒頭	106	左 22行目	誰もが細菌のバイオフィルに包まれている	誰もが細菌のバイオフィルムに包まれている
6章	112	左 1行目	SEMは, 試料表面を詳細に研究するのに役立つ(図6.4a).	⇒(削除)
6章	124	左 12行目	実際, 生物学者の中には	実際, 一部の生物学者は
7章	157	左 概念のチェック 7.3 8行目	高張液から等張液	低張液から等張液
7章	161	図7.22右 8行目	受容体タンパク質は, リガンドが結合すると, 被覆ピットは	リガンドが結合すると, 受容体タンパク質は集合し, 被覆ピットと呼ばれる膜がへこんだ領域をつくる. この被覆ピットは
8章	181	左 10行目	酸素の	酵素の
9章	195	右 1行目	に存在時間は, 炭素原子の近くに	に存在する時間は, 水素原子の近くに
11章	263	図11.18 8行目	p.264の図11.14	p.260の図11.14
付録A	1463	左 理解度テスト 1行目	8. c	8. e
付録A	1463	右 概念のチェック3.2 10行目	1Lの血液は $7.8 \times 10^{-13}$ 分子	1Lの血液は $7.8 \times 10^{13}$ 分子
付録A	1464	左 理解度テスト 1行目	7. e	7. 10°C
付録A	1464	左 理解度テスト 1行目	8. d	8. 60g
付録A	1465	左 理解度テスト 1行目	3. d	3. e
付録A	1465	左 図5.4 2行目	4個の炭素のフルクトース	4個の炭素はフルクトース
付録A	1467	左 概念のチェック6.2	(「2.」という問題番号が抜けている)	⇒(図の前に「2.」を加える)
付録A	1467	左 概念のチェック6.2 7行目	125+124+125+125	125+125+125+125
付録A	1470	左 11行目	(問題番号)7.4	(問題番号)7.5
付録A	1470	左 11行目	(問題番号7.4の答えが抜けている)	⇒(追加)7.4 共輸送体によって運ばれる溶質分子の一方は濃度勾配に逆らって能動輸送される. この輸送のエネルギー源は他方の溶質の濃度勾配に由来する. そしてその濃度勾配は, エネルギーを使って後者の溶質分子を膜輸送する起電性ポンプによって形成されたものである.
付録A	1471	右 理解度テスト	(問題番号)8.	⇒(削除; この経路図は問7の答え)